

# 新型コロナウイルス感染症の発生状況（富山県、第11週）

富山県厚生部健康対策室、衛生研究所

令和6年 第11週分 3月11日～3月17日（3月21日時点速報値）

定点医療機関新規報告数：288人、定点医療機関当たり6.00人、新規患者推計値※：1,360人。

※推計方法：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kurashi/kenkou/kenkou/1279/department/department1/covid-19.html>

図1. COVID-19週別発生動向の推移（富山県）

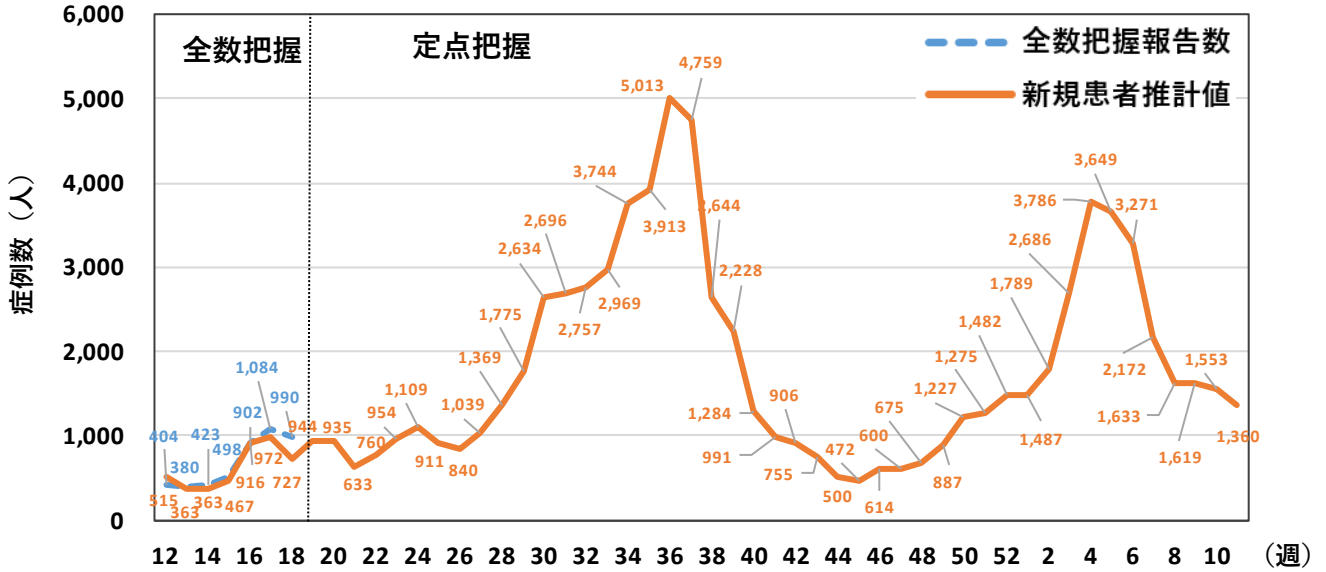


図2. COVID-19患者増減率（対前週、富山県） ※新規患者推計値から算出

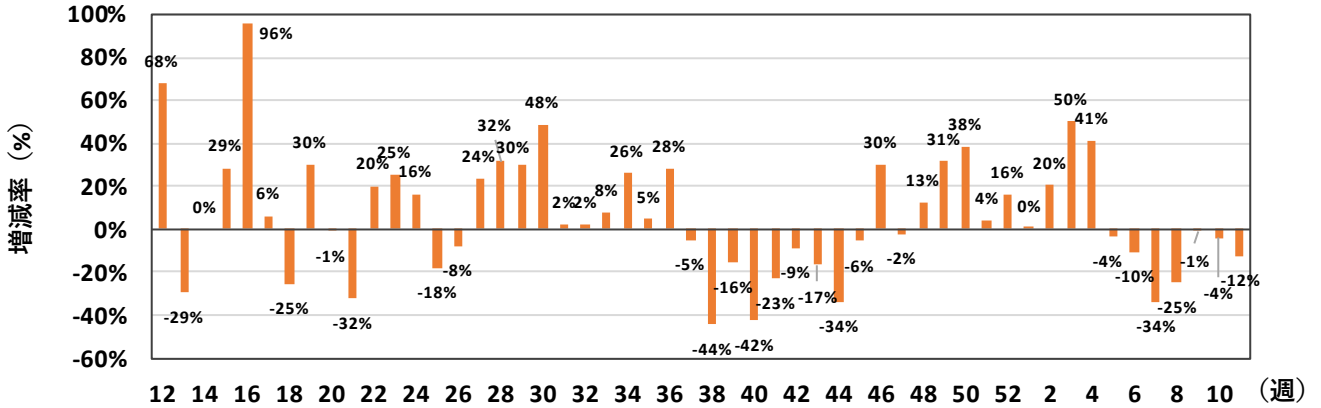


図3. 年齢階級別新規患者推計値（富山県、第11週）

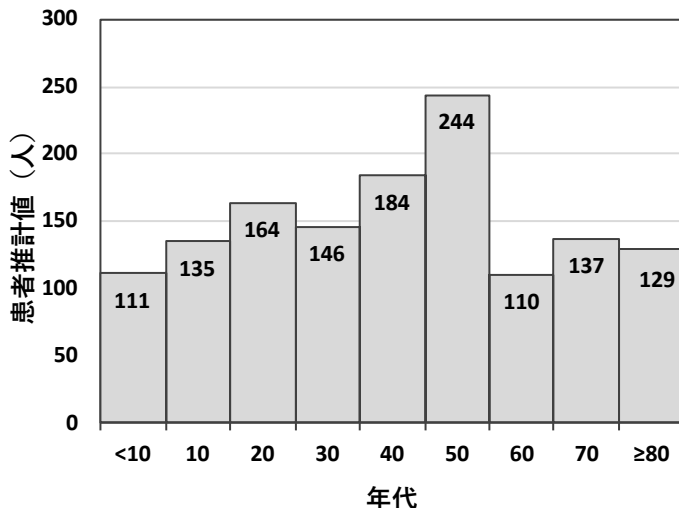


図4. 年齢階級別新規患者推計割合（富山県、第11週）

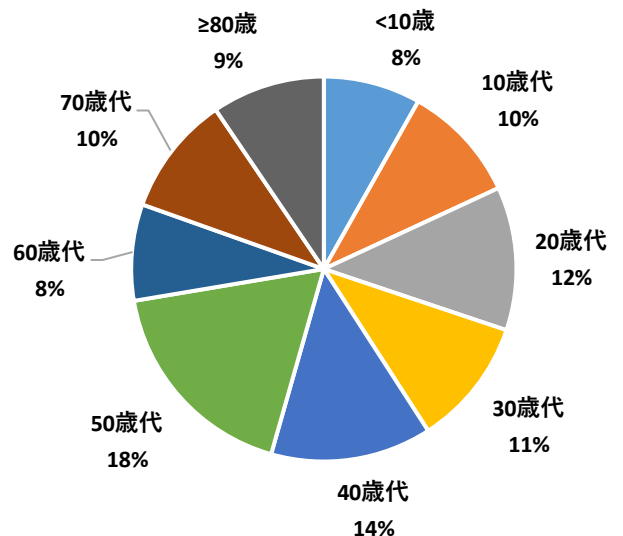


図5. 年齢階級別新規患者推計値の推移 (富山県)

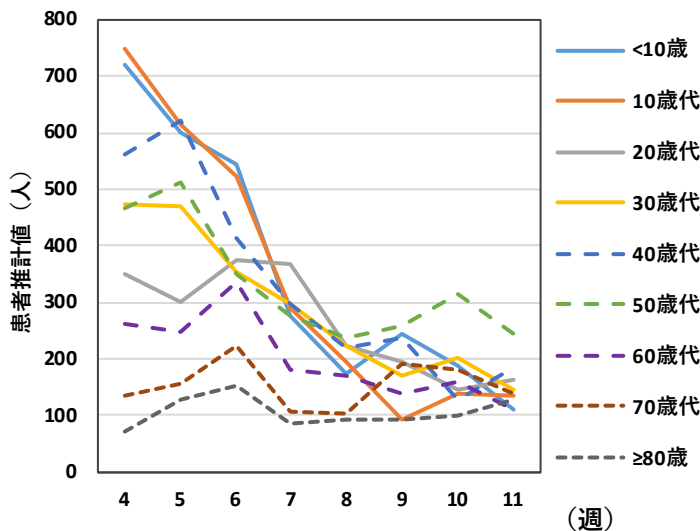


図6. 厚生センター・保健所管内別  
定点医療機関当たり報告数の推移

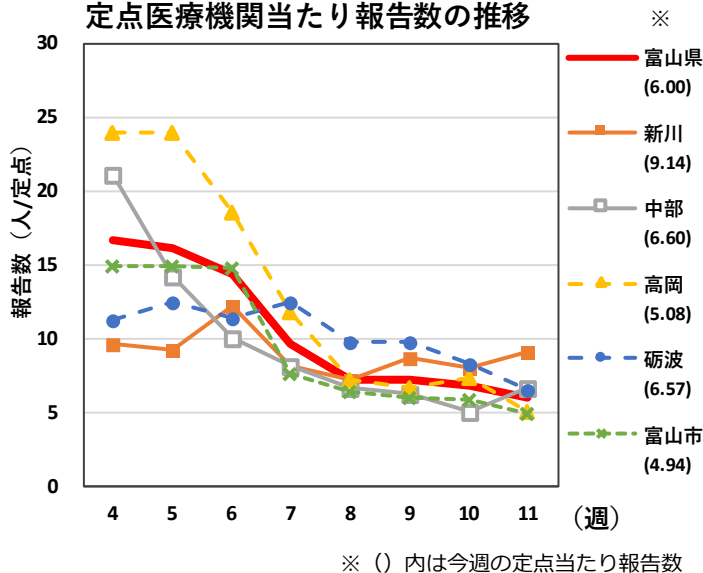


図7.COVID-19入院サーベイランス

年代分布 (第11週、38例)

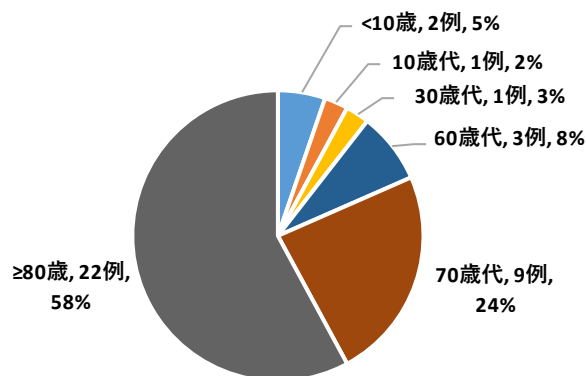
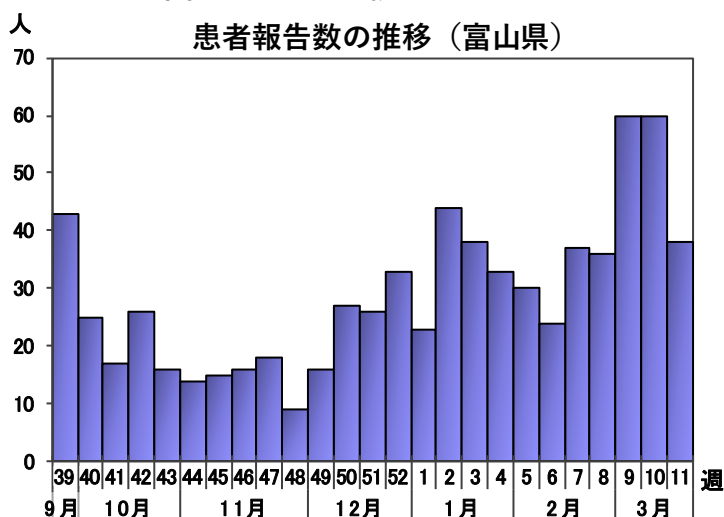


図8.COVID-19入院サーベイランス

患者報告数の推移 (富山県)



第11週 (3/11~3/17) 時点での所見と評価

- 第11週の定点医療機関当たり報告数は6.00人、新規患者推計値は1,360人であった。前週推計値 (第10週、1,553人) から12%減少した (図1、2)。
- 第11週の年齢階級別新規患者推計値を図3、図4に示す。50歳代が最も多く18%を占め、次いで40歳代 (14%)、20歳代 (12%) の順であった。60歳以上の割合は27%で先週 (29%) からやや減少した。
- 年齢階級別推計値の推移を図5に示す。40歳代で増加がみられ、その他の年齢は減少または横ばいであった。
- 厚生センター・保健所管内別定点医療機関当たり報告数の推移を図6に示す。富山県全域で6.00人/定点であり、先週 (6.85人/定点) からやや減少した。新川、中部管内はやや増加したが、その他の管内では先週から減少または横ばいであった。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第11週に38例の入院報告があり、先週 (60例) から減少した。年代分布では、70歳代が9例、80歳以上が22例で、70歳以上が全体の82%を占めた。10歳未満が2例、10歳代が1例報告された (図7、8)。
- COVID-19の患者報告数は、2024年に入り第4週をピークに第8週まで減少傾向が継続し、その後、第9、10週は概ね横ばいで推移したが、今週はやや減少した。引き続き今後の感染動向を注視する必要がある。